

\*\*\*\*尚、通年下記行事を実施しております。是非御参加下さい。\*\*\*\*

### ◇定例法話◇



何故お参りするの、何のために？ 聞法って？ お経は亡き人のために読むの？ 日頃の“？”を住職に尋ね、共に考えてみましょう!! どなたでも気軽にお越し下さい。

尚、6月25日は前住職の追悼法会も合わせて厳修致します。

○日時 毎月25日 午前10時半より 午後1時半より

### ◇婦人同朋会◇



正信偈を中心としたお勤めからはじまる同朋会です。勤行稽古、報恩講への参加を御縁とした交流の場でもあります。尚、正信偈の意識を通して宗祖親鸞聖人の教えを深めていきます。

新たなお仲間の参加を会員一同お待ちしております。

○日時 午後1時半より 5月28日 7月23日 9月24日

10月22日 (午前10時よりおみがき)

### ◇俳句会◇

毎月第1日曜日

毎月7日



### 《一口法話》

2月の末、県内のウズラ農場で鳥インフルエンザが発生し、H7型のウイルスが確認され、3月に入り更に2件、今後の調査でもっと増えるかもしれません。60万羽以上の殺処分が決定され、すでに半数の処分が完了しているようです。

生産者の方は大変気の毒なことと思います。しかしもっと気の毒で残念なのは処分されるウズラ自身でしょう。大半は感染していなくても殺されてしまうのだから。

この殺処分、もし人ならと思うとぞっとします。恐ろしいですね。食の安全には必要でやむなき処置ではあるが、そこに自己本位な人間の姿が映し出されているようです。何が恐ろしいのか… 必要な命とそうでない命、命を振り分け、当然と思い込みとんどん意識が麻痺していくこと。私自身そう言いつつ「徹底的にやってくれんと怖くて食べれんわ」と思う気持ちを抑えられないことがなにより恐ろしいことです。合掌

\*本法話は殺処分自体、及び実施した人を批判、糾弾するものではなく、人の心のあり方を問うているものである。尚、今回の問題で失われた多くの命の冥福を願うと共に、この処置に携わった農家、行政の皆様に変な苦労だったと労いたい。

### 《後記》

伊藤 詩子 (婦人同朋会副会長)

暦は春、でも冷たく寒い日は祖母が偲ばれます。幼い頃、陽をいっぱい受けた縁側は祖母と猫の指定席。真綿を手を四方をゆっくり伸ばし、「軽くて温かいよ」と私の肩に当てて微笑む柔らかな温もりは今でも蘇ります。テレビなど無い縁側の時はゆったりと流れ、今以上心の豊かさを感じます。リモコン頼り環境破壊の進む今、自然の恵みの有難さに感謝しつつ、私達が出来得るエコライフを実践し、次世代に良い環境を残したいものです。

